

プレゼンテーション検定 [3級]

仕事を円滑に進めるコミュニケーションスキル

資格種別	民間資格
認定団体	一般社団法人プレゼンテーション検定協会
受検資格	特になし
合格率	79.6%



こんな人におすすめ

企画担当・学校教員



資格の概要とメリット

一般社団法人プレゼンテーション検定協会が実施する、通称“プレ検®”です。準3級～1級まで6段階あります。

仕事を円滑に進めるためには「伝える力」は必須のスキルです。受検への取り組みを活用して、効果的にプレゼンを学び、「伝える力」を身につけることができます。日常のコミュニケーションから、説明や提案機会、会議等での発言、昇進・昇格試験まで幅広く活用できる資格です。



聴き手の関心や興味を 引き出す伝え方ができるように

”

取得しようと考えたきっかけ

子どもたちにプレゼンテーションを教える授業で、反対に「私は毎日、何も考えずに6回の『授業』というプレゼンテーションを行っているのではないかと、ふと考えたことが、自分の中での強いきっかけでした。

私自身は公立学校の教員なので、子どもの前で毎日ずっと「伝える」という行動をしています。「組織の存続をかけた商品の売り込みや人事異動時の面接など、一般企業で行われているプレゼンテーションはどんなものなのだろうか」、さらに「それを授業に活かさないだろうか」と考えて受検しました。

取得にかかった時間や試験対策の工夫

テキストを購入し、約1カ月程度、毎日1時間程度の学習で3級を受検しました。テキストを熟読し、ノートにキーワードをチャートにしたり、架空のプレゼンのシナリオを書いたりしました。まとめるときには、プレ検公式ブログはとても参考になりました。

それまで、研修会において他の教員の前で授業をする時に緊張しがちでした。しかし、プレゼンにおける技術や気持ちの持ち方を学んだことで、自信が付き、聴き手の視線が自分に集まることを反対に心地よく感じるようになりました。そして私の話を聴くことによって、聴き手にメリットを感じてもらうことを意識するようになりました。また、「子どもたちが立ち上げたいクラブをプレゼンし、票が多く集まったクラブを作ることができる」という取り組みを職員会議で提案しました。検定で身につけた「結論、理由3つ、結論」という流れで端的に提案することを心掛けました。結果、これまで提案した5つの学校すべてで採用されています。同時にこのプレゼンの方法を、ことあるごとに、子どもたちにも教えています。「聴き手がどうなるかは全て話し手の責任である。」ことを学習してから、聴き手の立場になり話をしています。



過去問にチャレンジ！

プレゼンテーションの広義の目的は、[] を語ることである。

- | | | | |
|---|------------|---|------------|
| 1 | 話し手の言いたいこと | 3 | 話し手の聴きたいこと |
| 2 | 聴き手の言いたいこと | 4 | 聴き手の聴きたいこと |

[正解：4]

(第142回3級試験問題より)



資格の詳細

<https://preken.jp/>

